



2021年2月8日

富国生命保険相互会社  
米州開発銀行  
バークレイズ証券株式会社

債券投資を通じた社会貢献事業支援  
米州開発銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンドの購入  
～気候変動問題への取り組み～

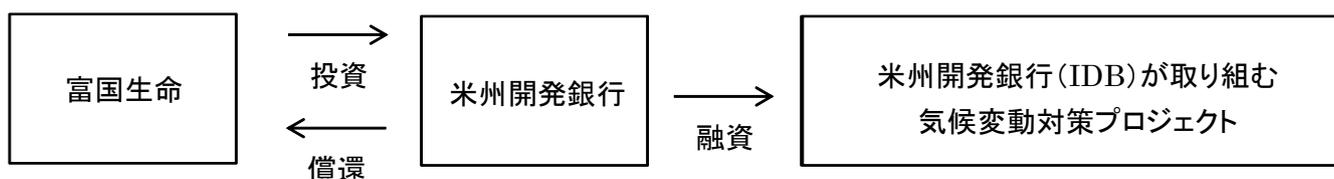
富国生命保険相互会社（社長 米山好映、以下「富国生命」）は、気候変動問題への具体的な対策を推進する米州開発銀行（Inter-American Development Bank (IDB)、ムーディーズ:Aaa、スタンダード&プアーズ:AAA)の取組みに賛同し、同行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへ投資しました。本債券の取扱証券会社にはバークレイズ証券株式会社が指名され、総額5,000万米ドル（日本円で51億9,000万円相当）全額を富国生命が購入しました。本債券の受け渡しと資金決済が2月8日に完了しましたので、概要をお知らせいたします。

米州開発銀行は、加盟国とのパートナーシップの下、持続可能かつ気候変動に配慮した手法を通じて、中南米とカリブ海諸国の経済・社会的発展の促進、および貧困と不平等の削減に尽力しています。この地域には、地球に生息する生物種の40%、そして多くのユニークな生態系が存在し、豊かな自然資本が地域の経済・社会的発展の基礎となっています。その半面、この地域における人口の増加や経済発展が、環境の持続可能性への脅威や自然資本の喪失につながっています。また、地理的にハリケーンや地滑り、干ばつや地震などの自然災害の影響を受けやすく、世界で最も不平等であると言われるこの地域における気候変動問題への対策は、不平等を是正し、地域の発展を促進するうえで大きな意義を持ちます。本債券への投資は、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」の17のグローバル目標のうちの一つであるSDG13（「気候変動に具体的な対策を」）への対策をテーマとしています。

発行概要

|            |   |
|------------|---|
| 発行体        | 米州開発銀行 (IDB)                                    |
| 起債通貨       | 米ドル   |
| 発行総額 (購入額) | 5,000万米ドル<br>51億9,000万円相当額<br>(1米ドル=103.8円にて計算) |
| 受渡日        | 2021年2月8日                                       |
| 償還日        | 2036年1月15日                                      |
| 発行利率<年率>   | 1.500%  |
| 取扱証券会社     | バークレイズ証券株式会社                                    |

## 米州開発銀行債券の購入による社会的責任投資の仕組み



本件は、パークレイズ証券株式会社を通じて、債券の発行体である米州開発銀行と資金の出し手である富国生命による直接的な協議を経て実現しており、多数の投資家が参加する公募債とは一線を画した形態となっています。

これまで富国生命では、プラスチック廃棄物問題への対処を推進するサステナブル・ディベロップメント・ボンドや、女性活躍推進への取組みを支援するジェンダー・ボンドなど、環境問題や社会問題の解決に資するプロジェクトへの投資を行ってまいりました。

当社は、公共性の高い生命保険事業を営む相互会社として、“THE MUTUAL”<sup>※</sup>というコンセプトのもと、真の“相互扶助”を体現する組織となることを目指しています。本債券への投資を通じた森林保全および人的支援は、ご契約者の大切な資金を運用するにあたり、収益性の確保のみならず、当社の経営理念の一つである「社会への貢献」を投融資の視点から実現しうる手法であると位置づけています。

※ 富国生命では、2023年の創業100周年に向けて、“THE MUTUAL”というコンセプトのもと、100周年プロジェクトに取り組んでいます。“THE MUTUAL”とは、共感・つながり・支えあいであり、次の100年に向け進化する次代の“相互扶助”のことです。

以上

### ■SDGs について

2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」で採択された、世界の貧困をなくし持続可能な世界を実現するための国際社会共通の目標（Sustainable Development Goals）のことです。2030年までに解決を目指す国際目標であり、17の目標と169のターゲットで構成されています。

### ■米州開発銀行（通称 IDB : Inter-American Development Bank）について

IDBは、中南米とカリブ海諸国の人々の生活の向上を目指しています。貧困や不平等の削減を目指す国々への経済的および技術的支援を通じて、健康と教育の向上や、インフラの拡充を支援しています。IDBは、持続可能かつ気候変動に配慮した手法を通じた開発の実現を目標としています。設立は1959年に遡り、現在では中南米とカリブ海諸国のための開発金融の主要な担い手となっています。またIDBでは、貸付や助成金、技術的支援の提供とともに、幅広い調査活動を実施すると共に、測定可能な成果の達成と最高水準の誠実さ、透明性、説明責任に対し、強いコミットメントを堅持しています。IDBは、中南米とカリブ海諸国全体における開発事業において、社会的包摂と平等、生産性と革新、地域内の経済的統合を優先事項としています。その際、ジェンダー平等と多様性、気候変動と環境の持続可能性、そして組織的能力と法の支配という分野横断的な課題にも取り組んでいます。IDBの戦略については[こちら](#)をご覧ください（英語）。

### ■米州開発銀行（IDB）のサステナブル・ディベロップメント・ボンドについて

IDBが発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドの購入を通じて投資された資金は、持続可能かつ気候変動に配慮した手法での経済・社会的な発展の促進を通じ、中南米およびカリブ海諸国の貧困と不平等を削減するというIDBの戦略的優先事項に沿って、IDB加盟国の持続可能な発展をサポートするプロジェクトに振り向けられます。

### ■パークレイズについて

パークレイズは、英国を本拠とするユニバーサル・バンク（総合的な金融機関）です。多様なビジネスとさまざまな種類の顧客を持ち、世界各地でビジネスを展開しています。世界中で個人向け銀行業務や各種支払いサービスを提供するほか、フルサービスの法人向け銀行業務および投資銀行業務を提供する世界有数の金融機関です。これらパークレイズのビジネスはすべて、テクノロジー、オペレーション、事務管理などのサービスをグループ全体に提供するサービスカンパニーによって支えられています。

<別紙>

## 【米州開発銀行(IDB)が取り組むプロジェクト事例】

### ホンジュラス：森林保護・改善プロジェクト



写真提供：米州開発銀行

水源として重要な役割を果たしている森林を、気候変動に耐えられるように保護・改善し、(1) 陸地面積に占める森林率の改善、(2)森林管理の統治を強化、金銭的に持続可能な管理を行う、ことを目的としています。ホンジュラスは中米において最も森林率の高い国ですが、同時に最も顕著な森林減少を経験している国でもあり、森林率は1990年の70%から2015年には40%まで低下しました。原因としては、農地や酪農地の拡大などの人的要因に加え、気候変動によって大量発生したキクイムシ、山火事の影響も報告されています。

適切な森林管理を導入し、森林面積を回復させることによって、人的要因・気候変動による影響を大きく軽減できる可能性があります。

### プロジェクトにおける人的支援について



写真提供：米州開発銀行

当該プロジェクトの対象地域に居住する人のうち、60%は極度の貧困状態にあると言われていています。一旦キクイムシに荒らされた森林を元に戻すには数年かかることもあり、支援なしでは農地への転用が行われてしまいます。当プロジェクトでは地元政府との協力の下、金銭的、技術的なサポートを提供し、アグロフォレストリー（樹木を植栽し、樹間で家畜・農作物を飼育・栽培する農林業）の導入を行っています。効果的な森林管理と合わせ、住民の収入も両立させることで、持続可能な森林保全を目指しています。森林面積が減少する

ことにより、乾季の水不足も深刻になっており、森林面積拡大によってホンジュラス国民の水源を守ることに繋がっています。

また、当該プロジェクトは女性の参画も目的としています。プロジェクトの対象地域では、女性の農業参画割合は1~2割程度となっています（男性の農業参画割合は8割程度）。ホンジュラスでは女性が農業参画を望んでも、実績がないなどの理由で融資を受けることが非常に難しく、これがさらなる格差を生んでいます。森林管理を行いつつ女性の参画割合を高めるために、プロジェクトでは農村の女性に対し、日陰で生育可能なため森林伐採をする必要がないコーヒー栽培の技術的支援を行っています。

詳細はこちらをご覧ください（英語）

<https://www.iadb.org/en/project/HO-L1200>

<https://www.iadb.org/projects/document/EZSHARE-1227142564-84?project=HO-L1200>